

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2795800131		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ平野北 3階		
所在地	大阪府大阪市平野区平野北2丁目14番6号 オオクラ医療複合ビル		
自己評価作成日	平成22年2月12日	評価結果市町村受理日	平成22年6月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成22年3月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

いろいろなレクリエーションを考え、利用者様一人ひとりが楽しく過ごしていただけるような雰囲気を作れるように心がけています。
利用者様が日々穏やかに過せるように、職員一同利用者様との時間を大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは、1階には提携医でもある医院や2階には法人のディサービス、3、4階に当該ホームがあります。1階に医院があることで、週に3回の往診や24時間連携が取れる事で、安心した日々を送られています。職員は提携医とホーム独自の医療面の情報交換記録ノートで共有し、職員の不安の解消にも繋げています。また、併設のディサービスと協力を得ながら、ニチイ祭りの開催やバーベキュー、カラオケ等利用者の楽しみになっています。利用者一人ひとりが穏やかに過ごし、得意分野や出来る事に取り組み発揮することで、利用者本位の生活を大切に支援されているホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社業の発展を通して豊かな人間生活の向上に貢献します。	法人の社是や経営理念があります。社名が変更して1年が過ぎましたが、ホーム独自の理念を作るには至っていません。社是や経営理念を基に地域とのつながりを大切に生活が楽しく過ごせるようにとの思いを日々考え話し合い振り返る機会を持っています。	法人の理念を大切に取組まれていることや思いを職員で話し合いホーム独自の理念を作られることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月に1度ホーム周りなどのごみ集めを、利用者様と職員で清掃、地域の一員として交流しています。	自治会に加入し、町会長や管理者からの情報を得て地域の行事に参加しています。法人合同のニチイ祭りやホーム独自の夏祭りを開催し、多くの方の参加がありました。また、中学校に車いすの使い方の講習に出向いたり、今後ふれあい喫茶や地域のネットワークなどに参加していく予定です。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町会長・地域ネットワークの方々に助言を頂き、会議等で話し合い努力している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括支援センター、町会長、家族様、管理者、ユニットリーダー、ケアマネージャー出席で開催、ホームの行事や予定を報告し、出席者からの要望、助言を頂きサービスの向上に、活かしている。	運営推進会議は家族や自治会長、地域包括支援センター職員、管理者、職員をメンバーとし、2ヶ月に1回開催しています。ホームから運営状況や行事報告等をして、活発な意見のやり取りがあり有意義な場となっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護者の利用者も多く住まわれているので、計画作成書を市のケースワーカーに提出し、入居者様の実情やケアサービスの取り組みを伝えている。	区役所には書類提出や利用者状況を伝えるに行っています。近日中に法人内のグループホームから、区役所と協力関係が築けるように紹介してもらおう予定です。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日常の様々な身体拘束の具体例をあげて、職員会議等で話し合っています。ホーム入口は鍵をかけておらず、センサー対応で家族には説明し了解を得ています。また、利用者が外出したい様子を感じたら職員と一緒に出かけています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々利用者様の変化に気を配り、見過ごされる事がない様に注意を払い、職員共々防止に努めています。		

ニチイのほほえみ平野北(3階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在成年後見制度活用されておられる利用者様もおられ、今後も必要性を関係者と話し合い支援していきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	4月よりニチイ学館へと移行についての説明を行い、家族会にて家族様等の不安や疑問点を尋ね、理解・納得を得られるように図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	弊社で直接家族様へアンケートを行っており、当事業所では、家族様の面会時や電話での意見・希望などを、お聞きし家族様との個別な話し合いの場を設けている。	法人から年1~2回の家族アンケートを実施しています。運営推進会議の参加や家族の来訪時、電話等で直接、意見や要望等を聞いています。職員はミーティングや申し送りで話し合い、改善策を家族に伝えています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営推進会議の内容書を事務所に置き、職員がいつでも目を通せる様にし、またフロア一会議等で意見や提案を聞く。	管理者は職員会議等で職員に問いかけ意見や提案を聞いています。職員間は何でも話し合える関係が構築されています。また、法人からの個人面談があり意見を言う機会があります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	組合があり職場環境・条件の整備に努めている。また、ステップアップ制度を設けており、職員個々に対してやりがいや、向上心を持って頂ける様に、面談・試験などを受けて頂き自給アップに繋げている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修では、新任導入研修・職員・ユニットリーダー・管理者と経験や役職に合わせて行われている研修が充実しています。外部研修なども職員の要望により参加出来る様にシフト調整をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	平野区のグループホーム連絡会に所属月1回の連絡会に参加、意見交換や各ホームでの空き情報共有。また講師を招いての勉強会、研修会の開催、職員交えての交流の場となっている。		

ニチイのほほえみ平野北(3階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訪問、面談時に利用者様の想いをお聞きし、不安・要望など、しっかりと受け止められる様に心掛け対応しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様に安心して頂ける様にホーム見学など、お勧めし、話し合える時間を作り、より良い関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事業所としてのサービス、安心して生活して頂ける様に、利用者様・家族様が何を必要とされているのかを見極め相談し、サービスに繋げられる様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と一緒に食事作り、行事などで使用する物づくりなど共に過ごす時間を共有し、笑顔の絶えない家庭的な雰囲気を作っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、利用者様・家族様との良い関係が保てる様に日々努力し、耳を傾け良い関係を保てる様に努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の馴染みの方(友人)からの電話対応など、気軽に来訪して頂ける様に努め、また、近隣の理髪店・買い物なども職員と一緒に出掛けたりしています。	利用者の知人と電話をしたり、気軽に来訪していただけるように支援しています。また、ホーム近隣からの利用者もおり、今まで利用していた理髪店や買い物等に職員と一緒に出かけしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆さんで楽しんで頂ける様な、レクリエーションを多く取り入れ、利用者様同士が関わり合える時間を持てる様に支援しています。		

ニチイのほほえみ平野北(3階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、必要に応じて電話相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の要望にお答え出来る様に、家族様にも、ご協力して頂き利用者様にとって、より良い暮らしが出来る様に努めています。	入居前家族にセンター方式を記入してもらっています。日々、一緒に生活する中でコミュニケーションを大切に希望や意向が把握できるように努めています、また、困難な場合には、表情や行動等から把握できるようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用、新規入居利用者様には、センター方式の記載の協力をお願いしている。また、回想法など開催予定をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり一日の過ごし方も違うので、その人らしい過ごし方に合った暮らし方が出来る様に支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員が利用者様の立場に立って、話し合い介護計画を作成している。	センター方式を利用しながら職員で話し合い一人ひとりに合わせた介護計画を作成しています。3ヶ月に1回のモニタリングや状態に変化があれば、利用者や家族等意見を聞きながらその都度、見直しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子などは、個別記録に記載、状況の変化・服薬の変更などは、記載にて職員に申し送り等で伝え共有し、介護計画見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況に対してカンファレンス(会議)等を行い、サービスに取り組む様に支援しています。		

ニチイのほほえみ平野北(3階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の出来る事、今まで出来ていた事が出来なくなる様に自立に向け支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医は週3回の往診、医師との受診記録も作成、職員も共有、日々利用者様の健康状態を書き込む様にしている。また、週1度の歯科訪問、訪問マッサージを利用。	利用者や家族に希望を聞いています。提携医は1階に自宅兼開業していることもあり、毎朝週3回の往診があり、24時間連携が取れ安心した生活が送られています。ホームと提携医との連絡ノートや受診記録も残しています。また、訪問歯科と歯科衛生士は週1回、訪問マッサージは希望に応じて来訪してもらっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医の看護師が来られ利用者様の血圧状態などを記載・把握されている。今後、医療加算の導入を計画している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院出来るよう病院関係者との情報交換、退院後のことなど相談に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	提携医、家族様との話し合いを行い、利用者様にとってより良い支援に取り組んでいます。	法人の方針を説明し同意を得ています。今までに終末期の支援の経験もあります。今後も家族や主治医、職員が繰り返し話し合いを持ちながら、利用者にとってより良い支援となるよう取り組んでいきたいと考えています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網・緊急対応マニュアルにて、対応出来る様にし、また、提携医との24時間連絡出来る様に支援しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員全体が非難場所を周知できるよう、避難場所地図を設置、自主防災訓練なども行っています。	併設のデイサービスと自主訓練を行っています。5月に消防署立ち会いもと、年2回の消防避難訓練を予定していますが、地域の方に呼び掛けるまでには至っていません。	運営推進会議で話題にしたり、消防署が来た時や今後予定している消火器の使い方の訓練などに地域の方にも声かけしホームに来てもらい、状況を知ってもらおう等地域の協力を得られるように検討されることを期待します。

ニチイのほほえみ平野北(3階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	拒否される事があっても、無理強いせず時間を置き声掛け、お手伝いして下さる事に対しては、労いの言葉掛けを、心掛けています。	利用者の人格を尊重し、大声を出さない、利用者の視野に入っただけの声かけ、利用者の目線に合わせるように努め、入浴の際には同性介助で支援しています。記録物は鍵のかかる事務所内のロッカーに保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望や要望をお聞きし、家族様との相談にて働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりの体調や、ペースにあわせ、出来るだけ希望に添える様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の希望で定期的に近隣の理髪店や美容院に出掛けています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好み、食べたい物などをお聞きし、メニューに取り入れたり一緒に食事作りや準備を楽しんでいます。	利用者の好みや食べたいものを聞きながら1週間分を職員が献立を立て栄養士に確認をしてもらっています。個々の利用者が率先して得意分野を行い、職員と楽しく食事作りや下膳をされ、手際の良さが伺われました。	利用者状況もありますが、職員1人でも検食を兼ね同じ物を食べ、楽しい時間を共に過ごせるように検討されてはいかがでしょうか。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後の食事量や水分摂取の記載、また一人ひとりの状態に応じてきざみ食、食卓ヘルパーにて対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週に1度の訪問歯科、毎食後のうがい、義歯洗浄などの支援をしています。		

ニチイのほほえみ平野北(3階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗が減少出来る様に時間帯に応じてのトイレへの声掛け、誘導を行い、また、おむつの使用を減らせる様に支援しています。	排泄チェック表を利用し、時間を見ながら声かけや誘導をしています。むやみにおむつを利用するのではなくパッドやリハビリパンツを利用しながらトイレでの排泄が出来るように支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防に対して、なるべく薬にたよる事なく、飲食物に工夫し、毎朝食時のフルーツ・サラダ・乳製品を採り入れています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとり、ゆっくり入浴出来る様に時間をと、入浴拒否の方がいらっしゃれば、タイミングに合わせての声掛けを行い、気持ちよく入浴出来る様に支援しています。	日曜日以外、午後より入浴できるように準備しています。拒否のみられる利用者にはタイミングを図って声かけの工夫をしています。ゆず湯や菖蒲湯を楽しみ利用者のペースで週に3回はゆっくり入浴を楽しめるように支援をしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、フロアーにて、リクリエーションなど楽しく過ぎて頂き、昼夜逆転することなく安心して眠れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局との提携もあり、薬剤師による服薬に対する勉強会もあり、職員も理解し服薬事故のない様に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	センター方式に基づき一人ひとりの好みや、生活歴などの情報を得てその人らしく合わせた日々を過ごせる様に職員と話し合い取り入れています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の希望により、家族様と出掛けられる事はありますが、ホームとしては戸外に出掛ける事があまり出来ず、支援出来る様に努めて行きたいと思っています。	日曜日や天気の良い日には、近隣の神社や公園に散歩や喫茶店等に出かけています。戸外に出られない時には、併設のデイサービスのベランダや室内を借りて、バーベキューやカラオケを楽しみ、気分転換できるようにしています。	

ニチイのほほえみ平野北(3階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者・家族様の希望により購入したい物があれば、職員と一緒に買い物など出掛け購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様・友人の電話でのやり取りも出来る様に支援しています。また、利用者様本人が家族様に連絡の希望があれば、電話など出来るように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂ける様に、その季節に応じて飾りつけや食材を取り入れたり、入浴時にはゆず湯や菖蒲湯などを入れ、季節感を味わって頂く様に工夫しています。	各ユニットの入り口は、皆で作った季節の貼り絵が飾られ観葉植物やひと休み出来るようにベンチが置かれています。フローアールや利用者の居室は明るく、優しい色合いの対面キッチンから調理の様子が分かりいい匂いがしています。また、テレビ前や廊下にはソファが置かれ一人になれる空間やゆっくりと過ごせるようにしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、和室もあり、フローアールには、ソファも置かれ、自由にいつでも、居心地良く過ごせる様に工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様本人が以前のお住まいから慣れ親しんだ家具や、使い慣れた物を使用、利用者様や家族様と相談し以前と変わらず生活出来るように工夫しています。	居室には使い慣れた家具や仏壇、写真など個々の大切なものを持ってきてもらい、利用者や家族と相談しながら居心地良い居室作りを支援しています。また、希望があれば絨毯や畳を敷いて布団で休むこともできるようにしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食事作りや、洗濯物干し・たたみなど、一人ひとり出来る事を活かして、自立した生活を送れる様に支援しています。		